

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただくために、**施工前に必ず取付説明書をお読みください。**
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

■施工の前に

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■施工上のご注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 寒冷地では、門柱に水抜き孔をあけてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■基礎工事について

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤は使用しないでください。使用するとアルミが腐食する原因になります。

■梱包明細書

1 建仁寺垣扉セット

名称	員数		
	両面	片面右勝手	片面左勝手
建仁寺垣扉(07-18)本体	1	1	1

名称	員数		
	両面	片面右勝手	片面左勝手
建仁寺垣扉(07-14)本体	1	1	1

2 御簾垣扉セット

名称	員数	
	07-18	07-15
御簾垣扉(07-18)本体	1	—
御簾垣扉(07-15)本体	—	1

3 清水垣扉セット

名称	員数	
	07-18	07-15
清水垣扉(07-18)本体	1	—
清水垣扉(07-15)本体	—	1

4 建仁寺垣戸当りセット(内開き用)

名称	員数	
	H:1800	H:1400
建仁寺垣戸当り(内開き)	1	1
隙間塞ぎA(内開き)	1	1
隙間塞ぎA(内開き調整用)	1	1
隙間塞ぎB(内開き)	1	1
隙間塞ぎキャップ	1	1
戸当り取付ネジ φ4X10トラス3種	4	3
隙間塞ぎA取付ネジ φ4X35バインドピラス	7	6
隙間塞ぎB取付ネジ φ4X13バインドピラス	7	6

5 建仁寺垣戸当りセット(外開き用)

名称	員数	
	H:1800	H:1400
建仁寺垣戸当り(外開き)	1	1
戸当り受け(外開き)	1	1
隙間塞ぎA(外開き)	1	1
隙間塞ぎA(外開き調整用)	1	1
隙間塞ぎB(外開き)	1	1
隙間塞ぎキャップ	1	1
戸当り受け取付ネジ φ4X10トラス3種	4	3
隙間塞ぎA取付ネジ φ4X35バインドピラス	7	6
隙間塞ぎB取付ネジ φ4X13バインドピラス	7	6

6 錠金具セット

名称	員数
シリンダーND片錠	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

7 建仁寺垣ユニットパネル受け部材セット

名称	員数	
	T18	T14
パネル受け部材(T14)	—	1
パネル受け部材(T18)	1	—
パネル組付けネジ φ4X12トラス1種	2	2
パネル受け部材取付けネジ φ4X25バインドピラス	5	5

8 門柱セット

名称	員数		
	H:1800	H:1500	H:1400
吊元柱	1	1	1
戸当り柱	1	1	1
調整金具Hセット	1	1	1
取付説明書	1	1	1

9 御簾垣・清水垣戸当りセット(内開き用)

名称	員数	
	H:1800	H:1500
御簾垣・清水垣戸当り(内開き)	1	1
隙間塞ぎA(内開き)	1	1
隙間塞ぎA(内開き調整用)	1	1
隙間塞ぎB(内開き)	1	1
隙間塞ぎキャップ	1	1
戸当り取付ネジ φ4X10トラス3種	4	4
隙間塞ぎA取付ネジ φ4X35バインドピラス	7	6
隙間塞ぎB取付ネジ φ4X13バインドピラス	7	6

10 御簾垣・清水垣戸当りセット(外開き用)

名称	員数	
	H:1800	H:1500
御簾垣・清水垣戸当り(外開き)	1	1
戸当り受け(外開き)	1	1
隙間塞ぎA(外開き)	1	1
隙間塞ぎA(外開き調整用)	1	1
隙間塞ぎB(外開き)	1	1
隙間塞ぎキャップ	1	1
戸当り受け取付ネジ φ4X10トラス3種	4	4
隙間塞ぎA取付ネジ φ4X35バインドピラス	7	6
隙間塞ぎB取付ネジ φ4X13バインドピラス	7	6

11 外開き用持ち送りセット

名称	員数
外開き用持ち送りセット(片開き用)	1

<注意>

- 錠金具の使用に際しては錠金具セットに同梱の取付説明書を参照してください。

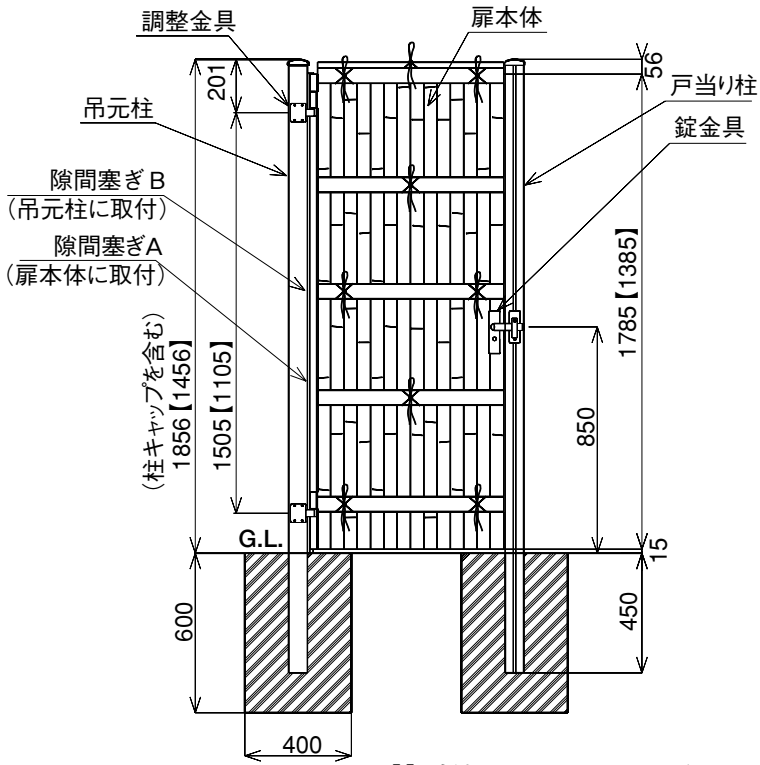
12 御簾垣・清水垣ユニットパネル受け部材セット

名称	員数	
	T18	T15
パネル受け部材(T15)	—	1
パネル受け部材(T18)	1	—
側枠受け金具	1	1
側枠キャップ	1	1
立子パイプ取付けネジ φ4×30トラス	8	8
パネル受け部材取付けネジ φ4X13バインドピラス	5	5
パネル組付けネジ φ4X13バインドピラス	4	4

1. 姿図および各部名称

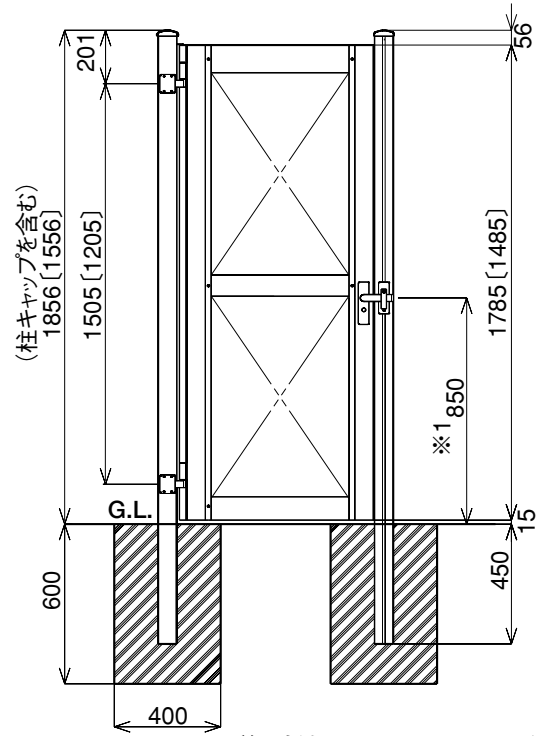
1-1 片開き

(1) 建仁寺垣扉(右勝手・内開き)の場合

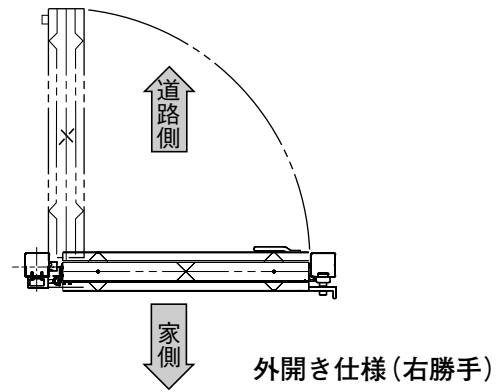
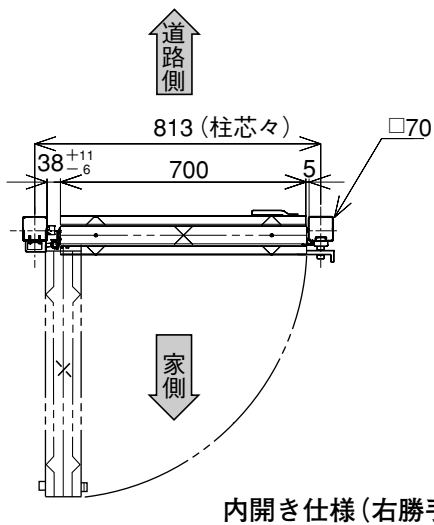


【】寸法は H: 1400の場合

(2) 御簾垣・清水垣扉(右勝手・内開き)の場合

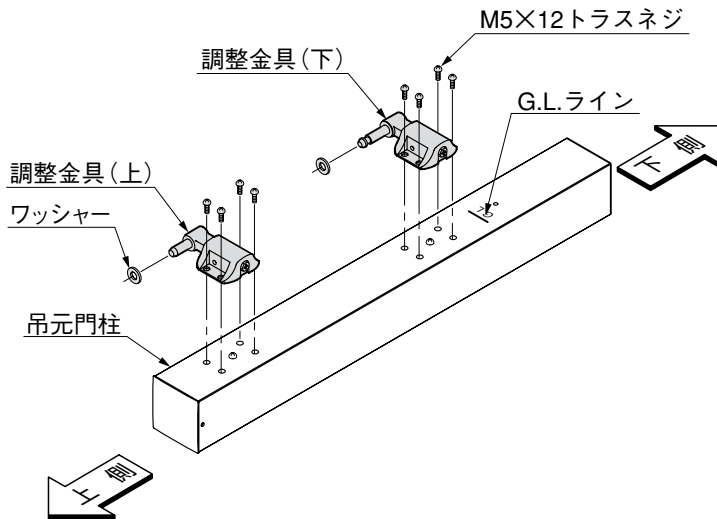


〔〕寸法は H: 1500の場合
※1 清水垣H:1500のみ750



2. 埋込み前の準備

2-1 吊元柱への調整金具の取付け



- ① 吊元門柱に調整金具(上)と調整金具(下)を固定してください。

<注意>

- 片開きの左勝手の場合には「2-2 片開き、左勝手の組替え」にしたがって調整金具を組替えてください。

2-2 片開き、左勝手の組替え

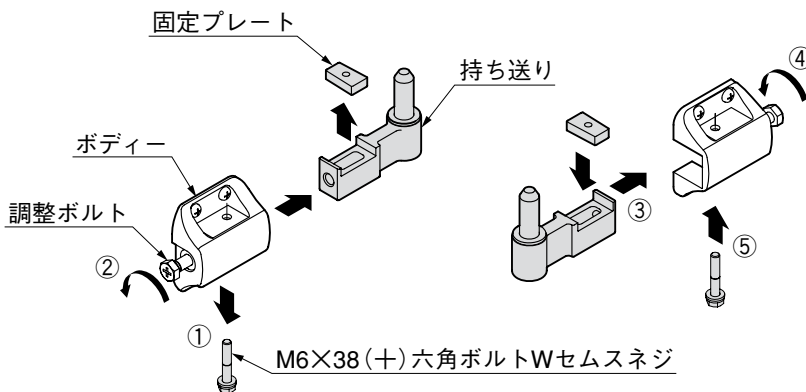


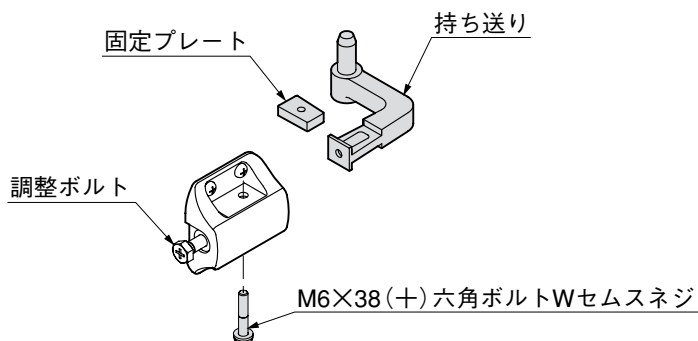
図2-2 部品の取り外し

図2-3 部品の組替え

- ① 「M6×38(+)六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
- ② 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートに乗せてボディーに挿入してください。
- ④ 調整ボルトを締めてください。
- ⑤ 「M6×38(+)六角ボルトWセムスネジ」を締め、持ち送りを固定してください。

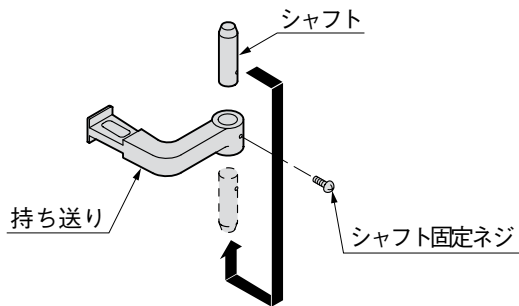
2-3 外開き用持ち送りの組立て **オプション**

(1) 持ち送りの組替え



- ① 「M6×38(+)六角ボルトWセムスネジ」を外し、調整ボルトをゆるめて持ち送りを組替えてください。

(2) 片開き左勝手の場合

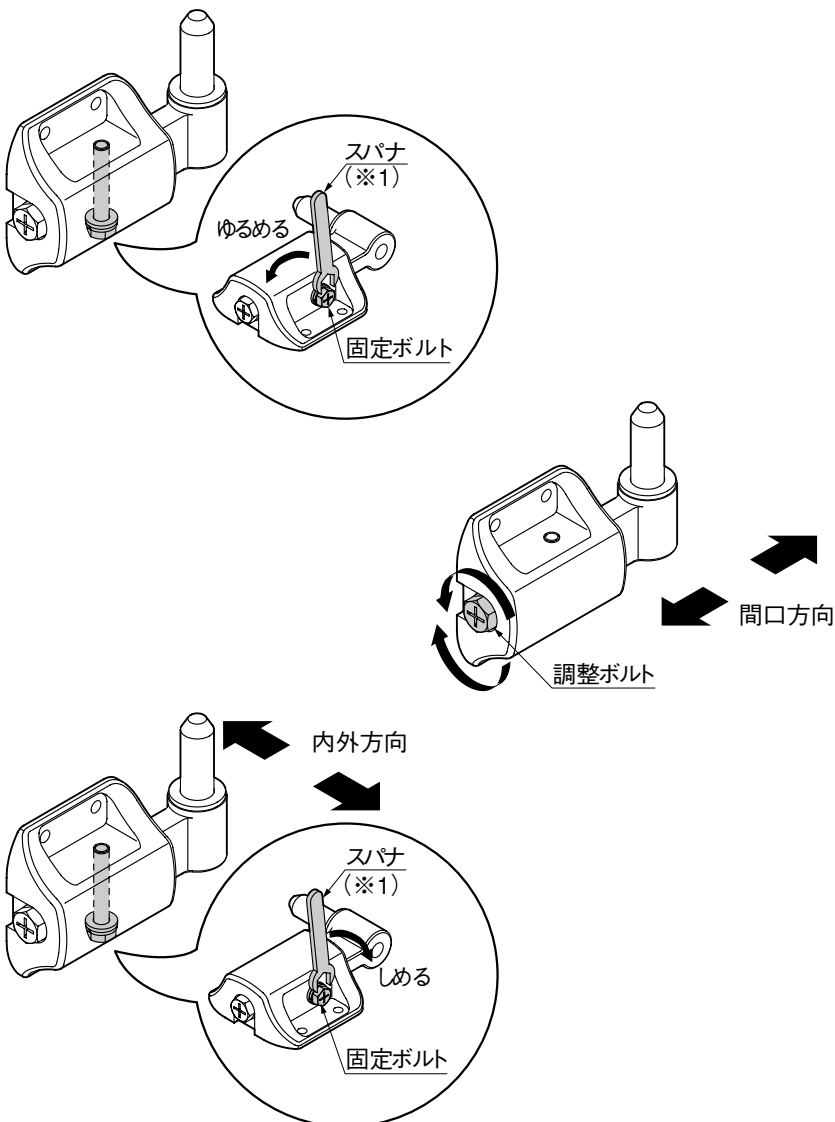


- ① シャフト固定ネジを外し、シャフトを組替えてください。

<注意>

- 調整金具の組替えは「2-2 片開き、左勝手の組替え」を参照してください。

3. 調整金具の調整方法



- ① 固定ボルトをゆるめてください。

<注意>

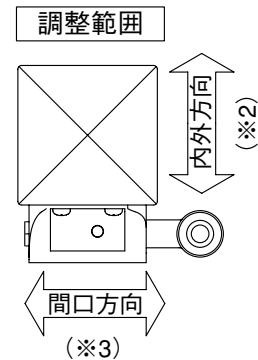
- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと調整機能が破損します。
- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

- ② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

- ③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

<注意>

- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)



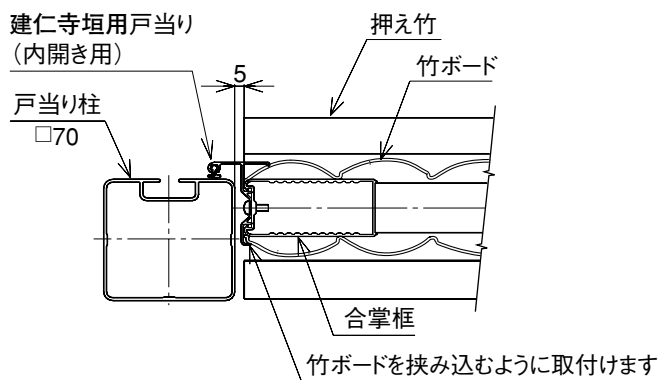
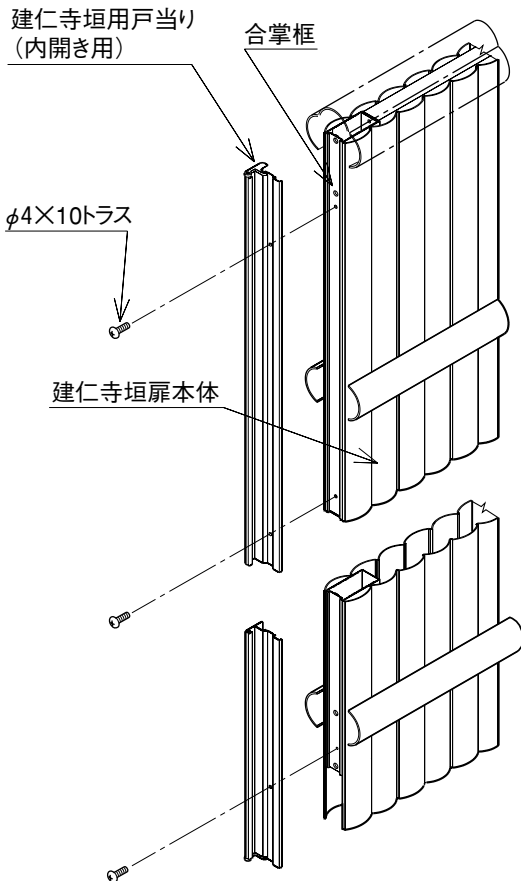
調整範囲

	調整金具H
内外方向(※2)	±4.5mm
間口方向(※3)	+11mm、-6mm

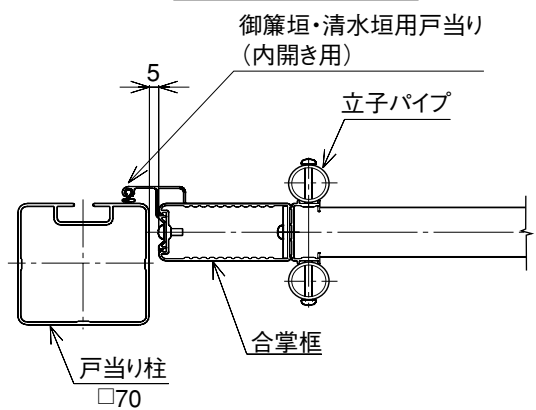
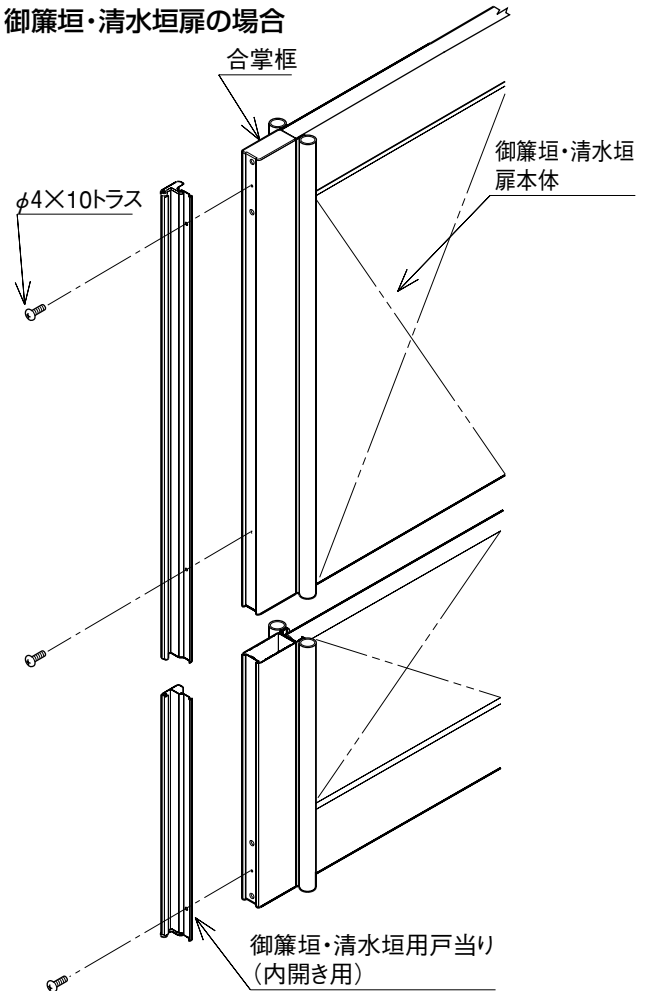
4. 戸当りの取付け

4-1 内開き

(1) 建仁寺垣扉の場合



(2) 御簾垣・清水垣扉の場合



- ❶ 戸当り(内開き用)を合掌框の所定の位置に取付けてください。

<注意>

- 戸当り取付け用のネジφ4×10トラス3種は戸当りセット内のものを使用し、錠セット内の同ネジは使用しません。
- 建仁寺垣扉の場合は竹ボード端を挟み込むように取付けてください。

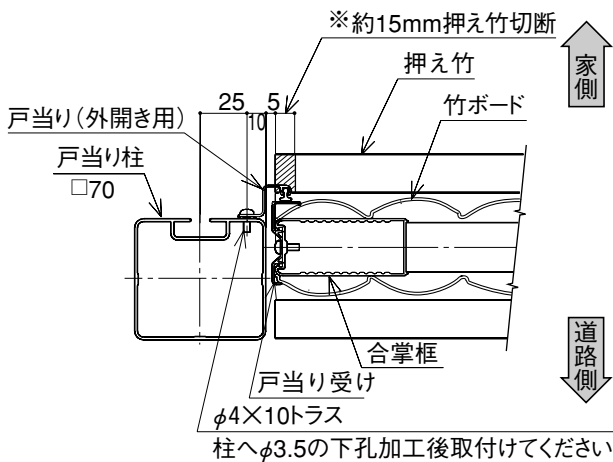
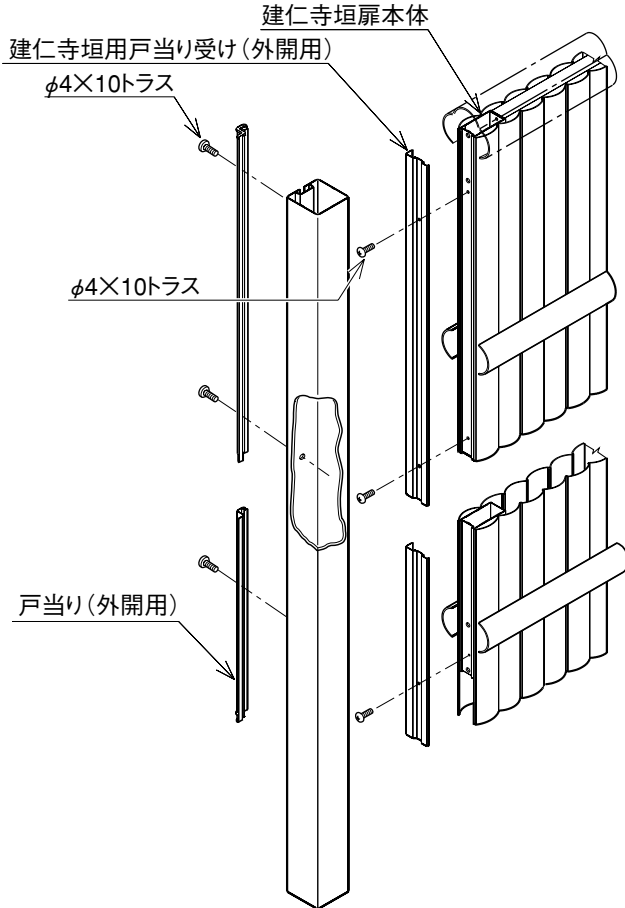
- ❷ 錠(シリンダーND錠)は錠セットに同梱の取付け説明書を参照して取付けてください。

<注意>

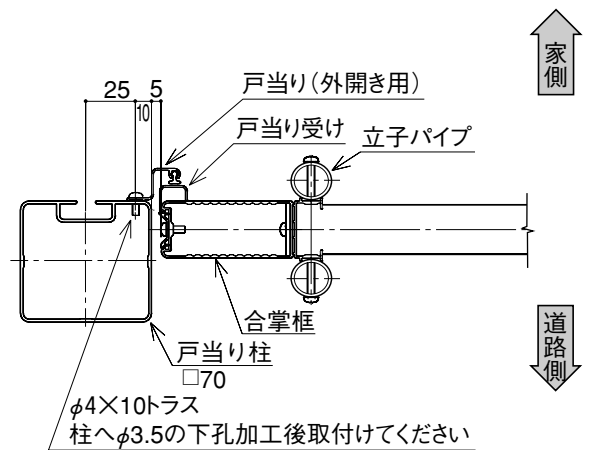
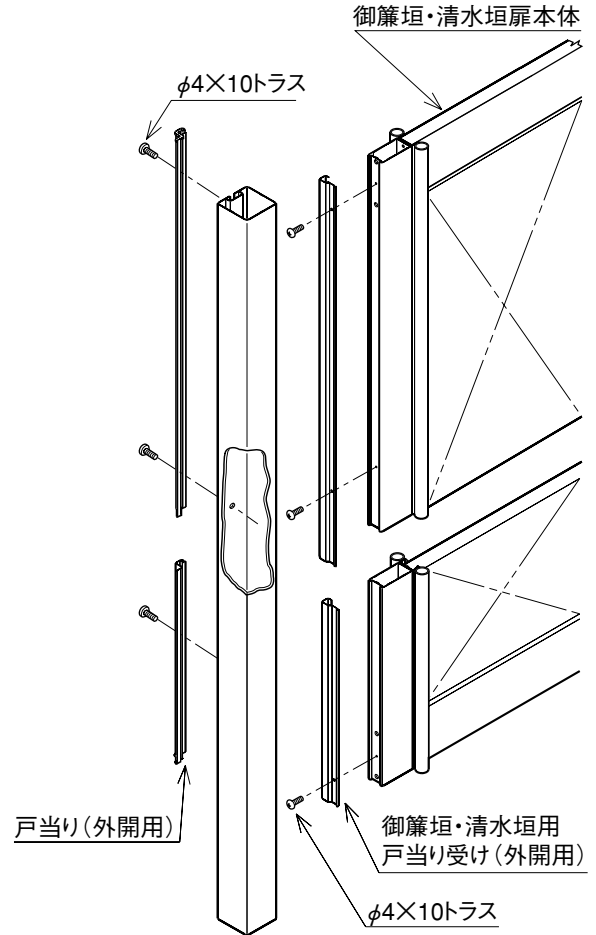
- 錠セット在中の落し棒受けは使用しません。

4-2 外開き

(1) 建仁寺垣扉の場合



(2) 御簾垣・清水垣扉の場合



- ① 外開き用戸当り受けを扉・合掌框の所定の位置に取付けてください。

<注意>

- 建仁寺垣扉の場合は竹ボードを挟み込むように取付けてください。
- ② 戸当り(外開き用)は扉のセット位置に合わせて戸当り柱に取付けてください。

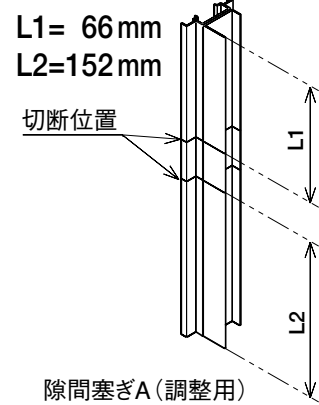
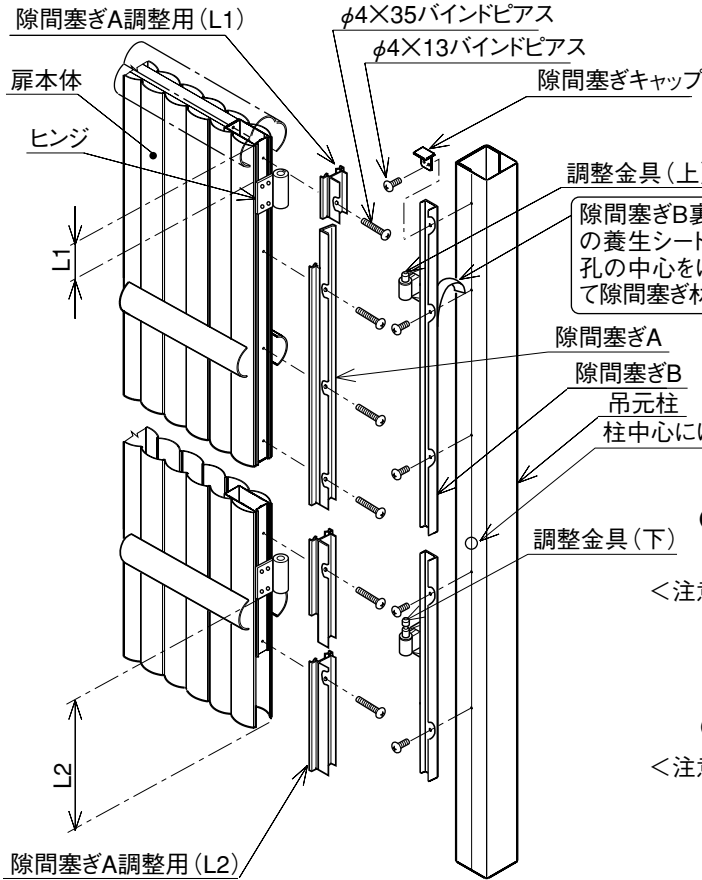
<注意>

- 戸当り柱には事前に下図を参考にドリルにて所定の位置にφ3.5の下孔を開けてください。
- 取付け用のネジ(φ4×10トラス)は錠セット内のネジを使用します。
- ③ 建仁寺垣扉の場合は、家側の押え竹が開閉時に戸当りと干渉する部分(*約15mm)を切り落としてください。

5. 隙間塞ぎの取付け

5-1 内開き

標準状態(扉下端とG.L.の隙間が15mm)の場合



- 扉本体の吊元側にシリンダーND錠セットに同梱の取付説明書を参照してヒンジを取付けてください。

<注意>

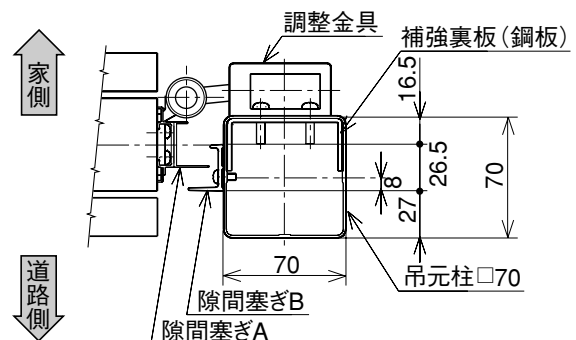
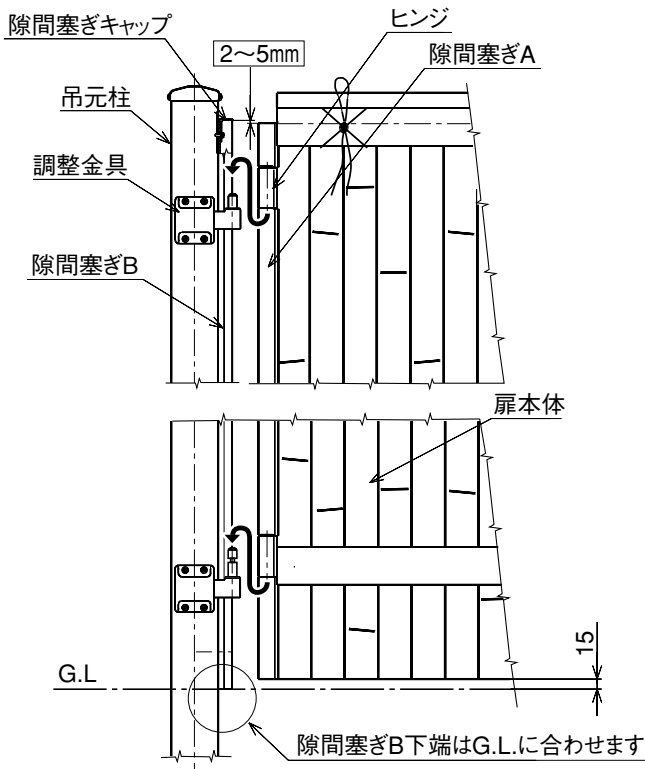
- ヒンジ取付け用のネジは錠セット内のネジ(φ4×10トラス)を使用します。
 - 同梱の落し棒受けは使用しません。
- 隙間塞ぎAを上下ヒンジの間に取付けてください。

<注意>

- 隙間塞ぎAを取付けるとヒンジの上下方向の調節は出来なくなりますので扉の設定位置に合わせた後で隙間塞ぎ材を取付けます。
- 隙間塞ぎA(調整用)を扉本体のL1,L2寸法に合わせて切断し、これをそれぞれ所定の位置に取付けてください。
 - 隙間塞ぎBを吊元柱の側面(柱中心)に取付けてください。隙間塞ぎBは下端をG.L.に合わせ、上部は扉の吊元枠上端+2~5mm余裕をとって切断してください。
 - 隙間塞ぎBの頂上部は隙間塞ぎキャップと共に固定してください。

<注意>

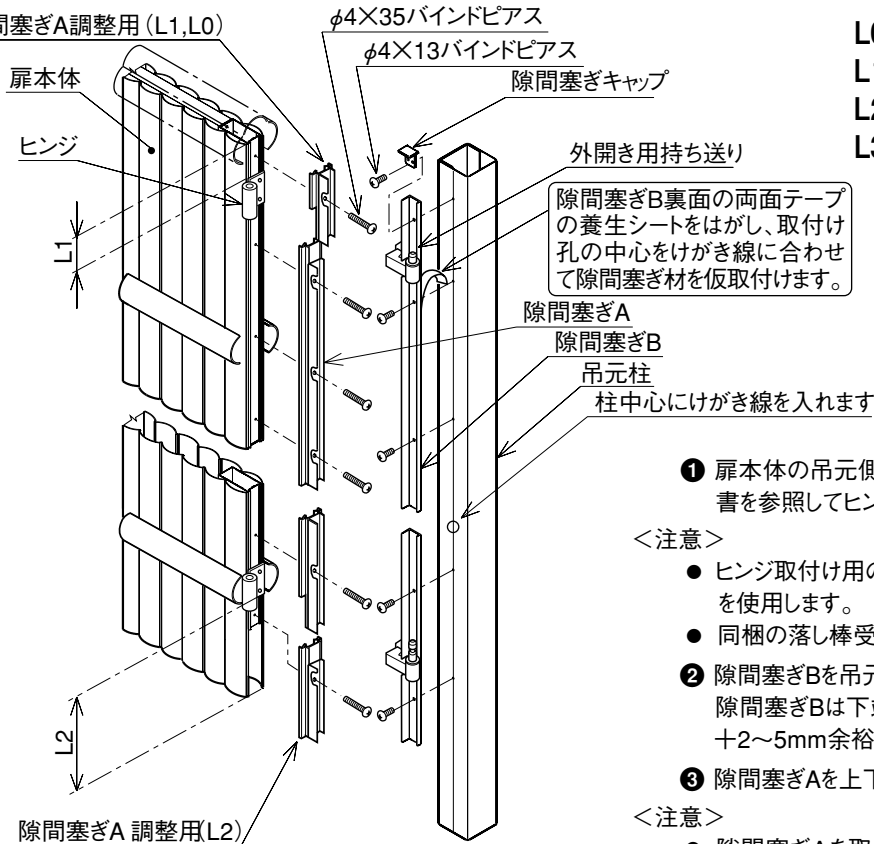
- 吊元柱内には補強裏板(鋼板)があります。取付けは柱中心(±2mm以内)に施工してください
- 御簾垣・清水垣扉の場合も同様の施工となります。



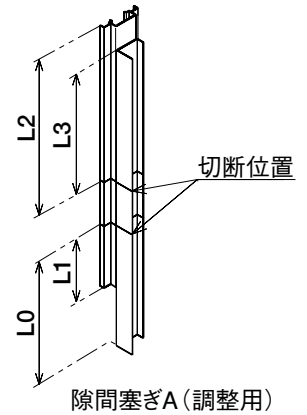
5-2 外開き

標準状態（扉下端とG.L.の隙間が15mm）の場合

隙間塞ぎA調整用(L1,L0)



L0=125mm
L1= 63mm
L2=155mm
L3=120mm



- 扉本体の吊元側にシリンダーND錠セットに同梱の取付説明書を参照してヒンジを取付けてください。

<注意>

- ヒンジ取付け用のネジは錠セット内のネジ(φ4×10トラス3種)を使用します。
 - 同梱の落し棒受けは使用しません。
- 隙間塞ぎBを吊元柱の側面(柱中心)に取付けてください。隙間塞ぎBは下端をG.L.に合わせ、上部は扉の吊元枠上端+2~5mm余裕をとって切断してください。
 - 隙間塞ぎAを上下ヒンジの間に取付けてください。

<注意>

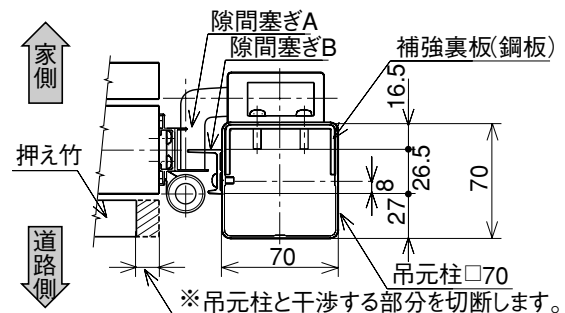
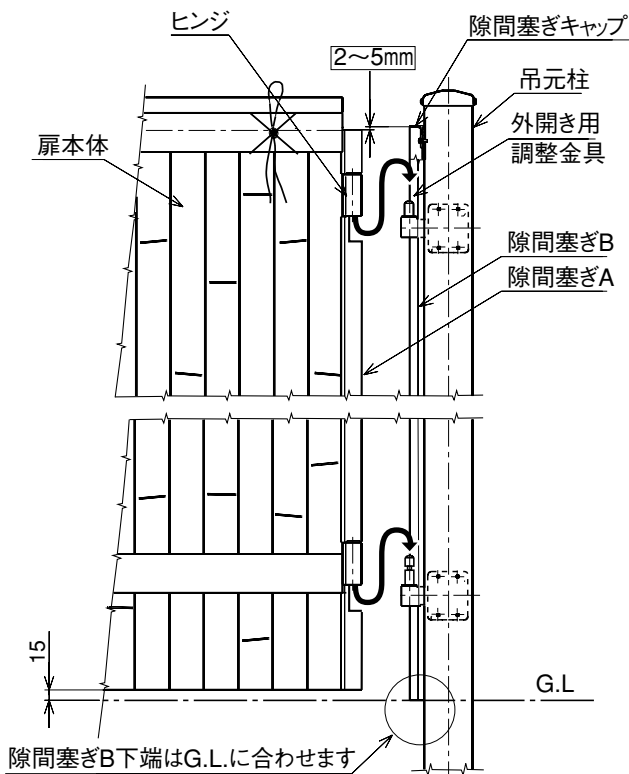
- 隙間塞ぎAを取付けるとヒンジの上下方向の調節は出来なくなりますので扉の設定位置に合わせた後で隙間塞ぎ材を取付けます。

- 隙間塞ぎA(調整用)を扉本体のL0,L1,L2寸法に合わせて切断し、これをそれぞれ所定の位置に取付けてください。

- 隙間塞ぎBの頂上部は隙間塞ぎキャップと共に固定してください。

<注意>

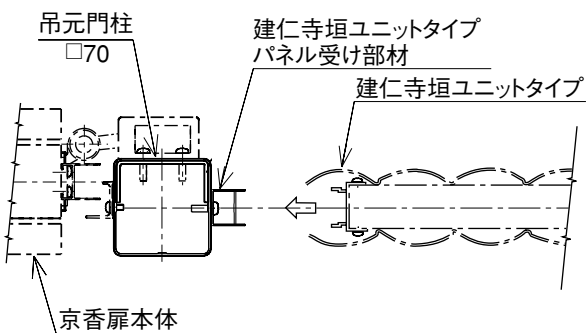
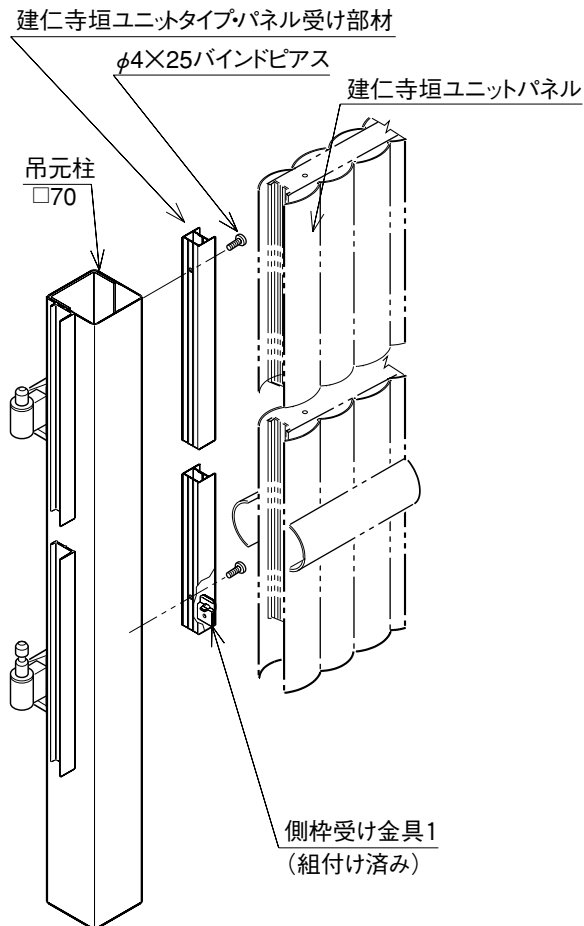
- 吊元柱内には補強裏板(鋼板)があります。取付けは柱中心(±2mm以内)に施工してください
- 建仁寺垣扉で道路側の押え竹が吊元柱と干渉*し開閉に支障がある場合は干渉する部分を切断してください。
- 御簾垣・清水垣扉の場合も同様の施工となります。



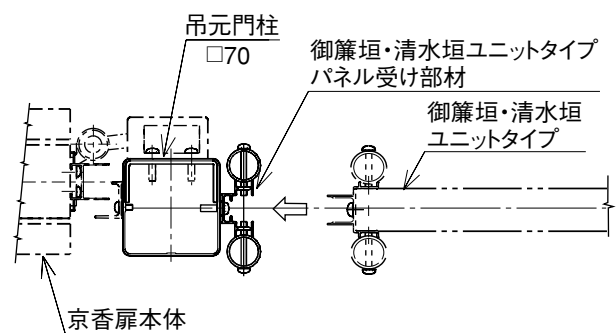
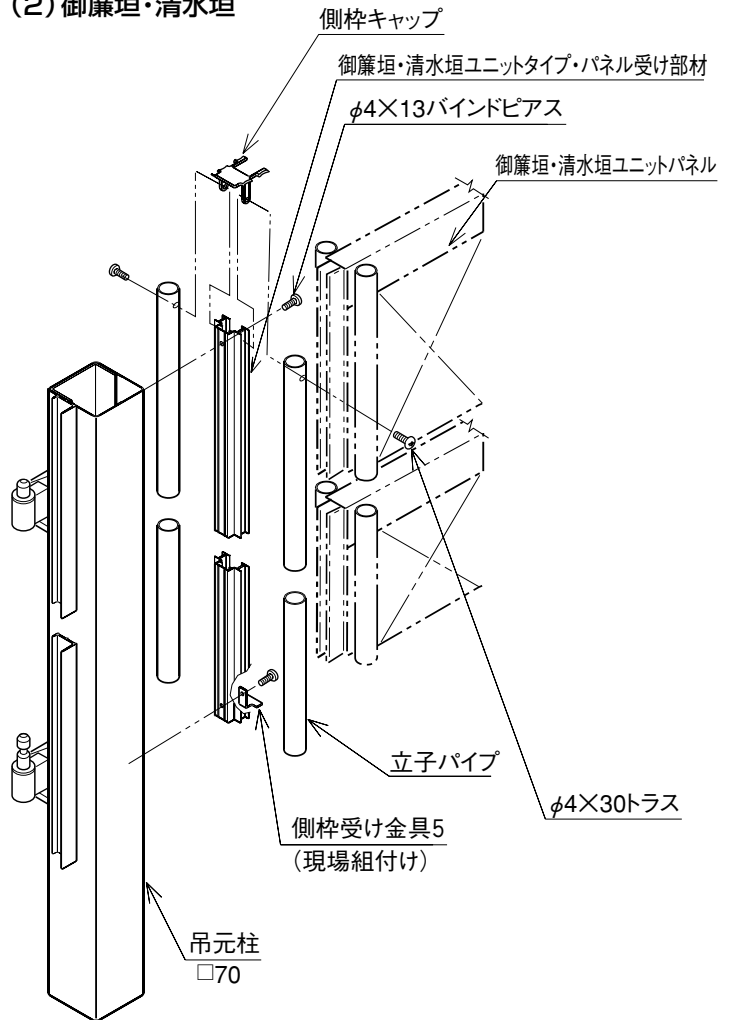
6. 京香フェンスとの連結

6-1 京香フェンス(ユニットタイプ)の連結

(1) 建仁寺垣



(2) 御簾垣・清水垣



① 吊元柱、戸当り柱の支柱側面(中心位置)にパネル受け部材を取付けてください。

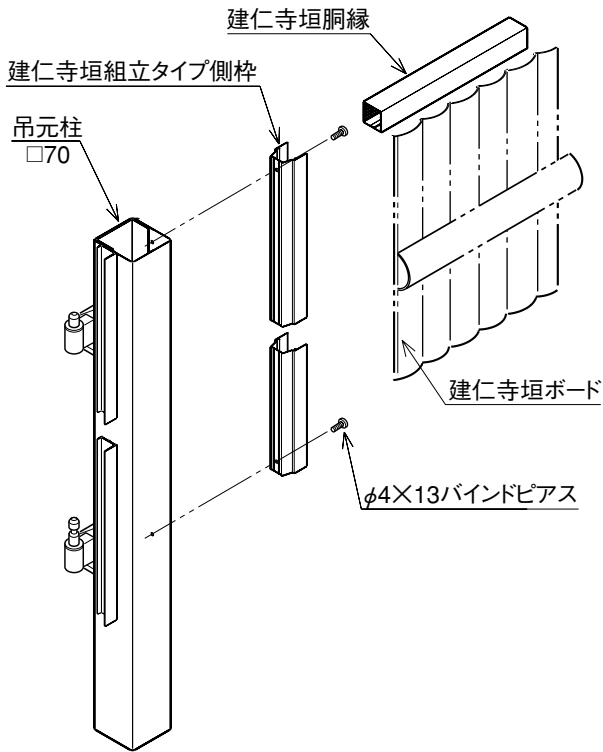
<注意>

- パネル受け部材の取付けは本取付説明書及び京香フェンスの取付説明書を参照してください。
- 京香フェンスを取付けた場合は支柱ピッチは2005mmとなり通常の支柱スパンより5mm大きくなりますので注意してください。
- 吊元柱内には補強裏板(鋼板)があります。取付けは柱中心(±2mm以内)に施工してください。

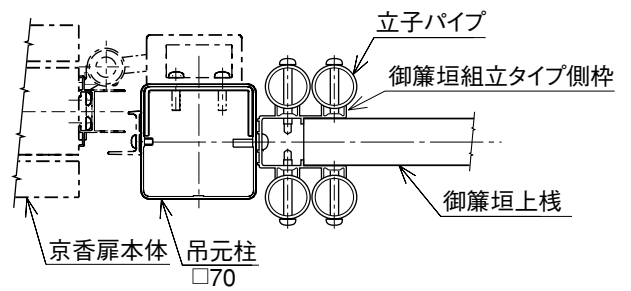
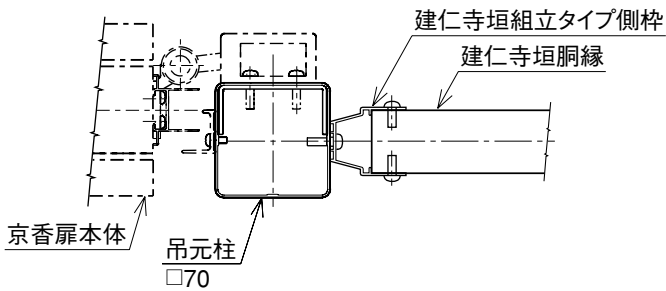
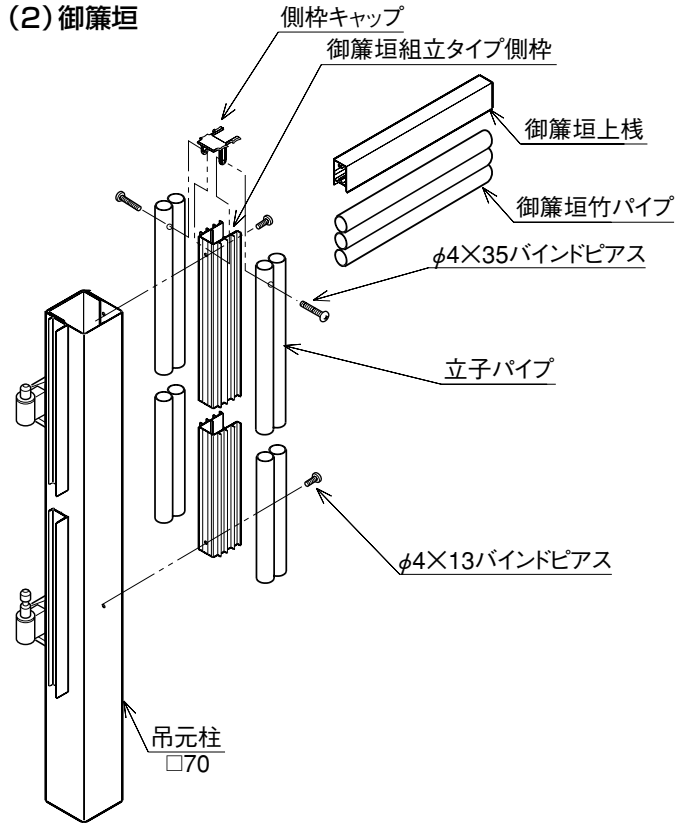
6-2 京香フェンス(組立タイプ)の連結

※建仁寺垣・御簾垣のみです。

(1) 建仁寺垣



(2) 御簾垣



- 1 吊元柱、戸当り柱の支柱側面(中心位置)に側枠を取付けてください。

<注意>

- パネル受け部材の取付けは本取付説明書及び京香フェンスの取付説明書を参照してください。
- 京香フェンスを取付けた場合は支柱ピッチは2005mmとなり通常の支柱スパンより5mm大きくなりますので注意してください。
- 吊元柱内には補強裏板(鋼板)があります。取付けは柱中心(±2mm以内)に施工してください。

工事店様へ

- みだりに改造、変更はしないでください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後、拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様へお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

C299

BWM574238D
200208A_1007
201607E_1047